

街歩きヒストリア



被爆直後の写真と平和を願う英文が付された慰霊銘板。下の窓枠には花や星条旗が飾られています。

原爆犠牲米軍人慰霊銘板

基町

爆心地から数百メートル。電車通りから一本入った路地裏に、1枚の銅製プレートがあります。原爆で亡くなった米兵の方々の慰霊銘板です。

ここはかつて憲兵隊司令部があり、広島市近郊に墜落した米軍の戦闘機や爆撃機の乗組員らが捕虜として収容されていました。



電車通りに面したビルの裏口。路地裏にひっそりと掲げられています。

彼らが原爆の犠牲になったことを、被爆者で歴史研究家・森重昭さんが長年の調査によって明らかにし、1998年に銘板が設置されました。

銘板や、お花・掲げられた星条旗には、亡くなった兵士たちを悼む心がこもっています。命の尊さは国籍を問いません。世界平和を願う広島にふさわしい慰霊碑です。

(文・写真 河原 ゆき子さん)

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。

